

2020年3月期 決算補足資料

1. 決算概観（連結）	P.1
2. 業績のポイント	P.2
3. 業績の状況	P.3
4. 主要製品の売上状況	P.4
5. 研究開発費・設備投資・減価償却費の状況	P.5
6. 開発品一覧	P.6～7
【参考資料】	
7. セグメント情報	P.8
8. 2021年3月期 連結業績予想	P.9
9. 損益計算書の概要（連結）	P.10～11
10. 貸借対照表の概要（連結）	P.12
11. 主な業績項目の推移（連結）	P.13
12. 杏林製薬（単体）資料	P.14～17

2020年5月12日

キョーリン製薬ホールディングス株式会社

本資料に記載されている業績予想等は、現時点で入手可能な情報により判断した予想であり、将来の業績に影響を与える不確実な要因やリスクが含まれています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。



2020年3月期 決算概観（連結）

（単位：百万円）	17年3月期	18年3月期	19年3月期	20年3月期	増減率
売上高	115,373	110,640	113,620	109,983	-3.2%
営業利益	10,413	8,822	8,972	7,503	-16.4%
経常利益	10,874	9,345	9,438	8,175	-13.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	7,305	6,574	6,869	6,149	-10.5%
1株当たり当期純利益(円)	99.45円	89.28円	104.68円	107.35円	+2.5%
総資産	192,668	196,736	173,034	171,160	-1.1%
純資産	157,837	163,297	123,395	122,710	-0.6%

21年3月期 (予想)	増減率
115,500	+5.0%
9,700	+29.3%
10,200	+24.8%
7,600	+23.6%
132.67円	+23.6%
-	-
-	-

2020年3月期 連結業績（実績）

【売上高】 新医薬品（国内）は主力製品「フルティフォーム」及び「ベオーバ」が順調に伸長したものの、長期収載品の処方減少、「デザレックス」の供給再開の遅れによる売り上げ減少等により前期を下回る実績となりました。他方、後発医薬品、新医薬品（海外）の売り上げは前期を上回る実績となりましたが、医療用医薬品事業の合計としては減収となり、ヘルスクア事業と併せた全体の売上高は前期比36億37百万円減（前期比3.2%減）の1,099億83百万円となりました。

【利益】 売上原価率は低下したものの、新医薬品の減収により売上総利益が前期に対して3億77百万円減少しました。また、販売費及び一般管理費は、前期に対して10億92百万円増加（内、研究開発費1億96百万円増）し、営業利益は75億03百万円と前期比14億69百万円の減益（前期比16.4%減）となりました。親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、61億49百万円（前期比10.5%減）となりました。

なお、売上高・利益とも、2019年11月7日公表の予想を達成しました。

2021年3月期 連結業績（予想）

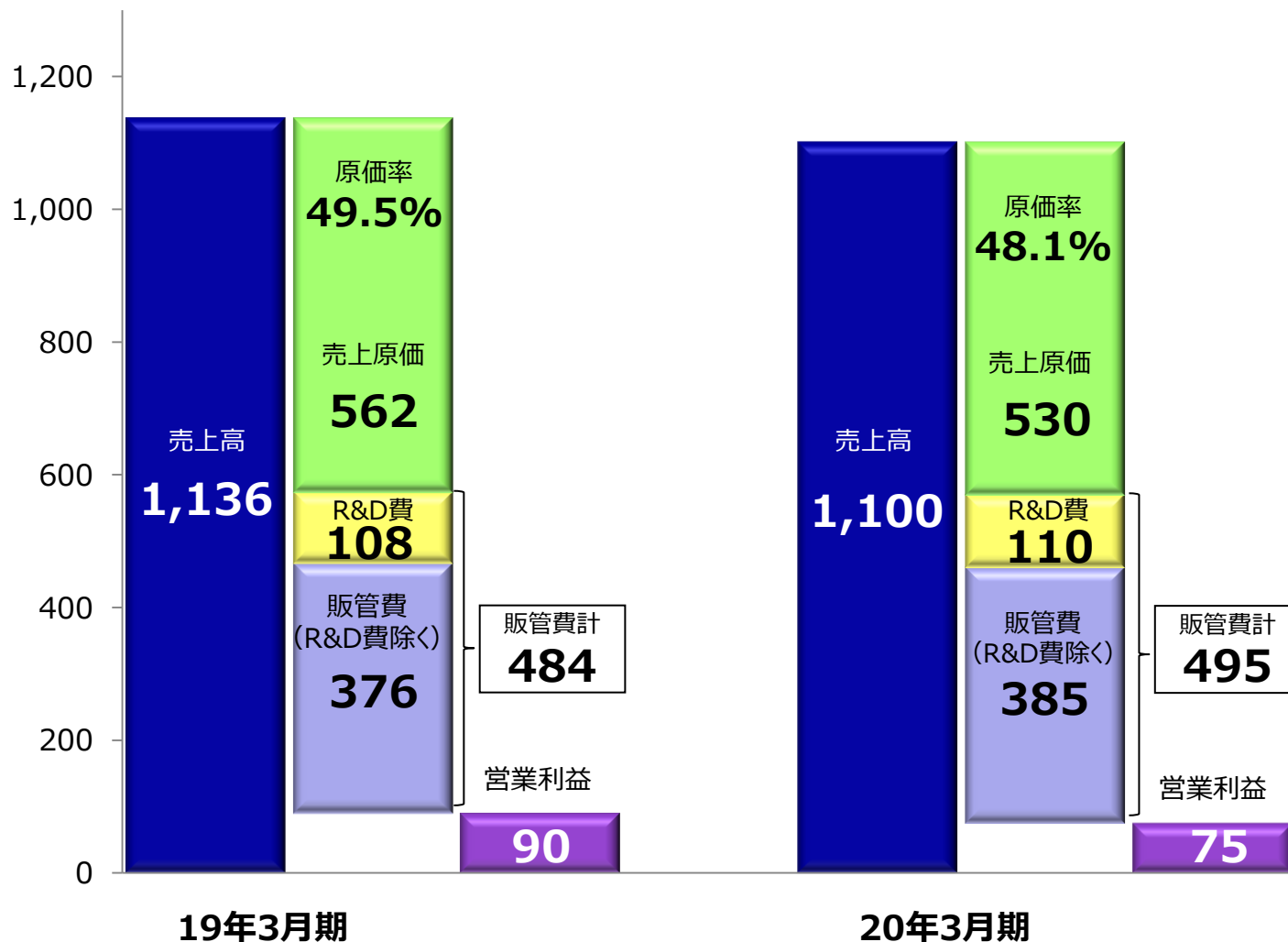
【売上高・利益】 売上高は、薬価改定の影響はあるものの、2019年度に発売した新製品「ラスビック錠」の売上寄与や投薬期間の制限解除となった「ベオーバ」の伸長が予想され、新医薬品（国内）の売り上げは前期を大幅に上回る見通しです。また後発医薬品についても、新たなオーソライズド・ジェネリックの発売により売り上げの増加が予想されることから、医療用医薬品の売上高は大幅な増収を見込みます。利益面では、売上高の大幅な増収を主因として、増益を見込みます。

以上により、21年3月期の連結業績は、売上高1,155億円（前期比5.0%増）、営業利益97億円（前期比29.3%増）、親会社株主に帰属する当期純利益76億円（前期比23.6%増）を予想します。

なお、新型コロナウイルス感染の拡大による業績への影響は、軽微であると見込んでいますが、状況は未だ不透明な部分が多いことから、今後の動向に注視するとともに、業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに開示いたします。

2020年3月期 業績のポイント（対前年）

（単位：億円）



【ポイント】

- 売上高は前期比36億円減少
- 売上原価率は1.4ポイント低下
 - ・プロダクトミックスの改善（新薬群の売上拡大）
 - ・消費税増税に伴う薬価改定の影響（3%台）

■ 売上総利益は前期比4億円減少

- 販管費は前期比11億円増加
 - ・R&D費は2億円増加
 - ・販管費（R&D費除く）は9億円増加

■ 営業利益は前期比15億円減少

2020年3月期 業績の状況

(単位：億円)

(対前年) (対予想)

	19年3月期	20年3月期	前年差額
売上高	1,136	1,100	-36
医療用医薬品事業	1,079	1,036	-43
◆新医薬品	785	726	-59
○国内	777	712	-65
○海外	8	15	+7
◆後発医薬品	293	310	+17
ヘルスケア事業	58	64	+6

営業利益	90	75	-15
経常利益	94	82	-12
親会社株主に帰属する 当期純利益	69	61	-8

■売上高	1,100億円	(-36)	(+6)
◆医療用医薬品事業	1,036億円	(-43)	(+2)
●国内新医薬品	712億円	(-65)	(+2)
		19.3	20.3
・フルティフォーム	131	⇒	146 (+15) (+5)
・デザレックス	37	⇒	26 (-11) (-24)
・ベオーバ	7	⇒	43 (+36) (+15)
・ラスビック	—	⇒	11 (+11) (+2)
・ウリトス	66	⇒	58 (-8) (-1)
・ペンタサ	135	⇒	133 (-2) (+6)
・ナゾネックス	128	⇒	60 (-68) (-2)
・キプレス	139	⇒	118 (-21) (+7)
・ムコダイン	68	⇒	58 (-10) (-3)
●海外新医薬品	15億円	(+7)	(+1)
	ガチフロキサシンに関わる収入増加、契約に伴う一時金収入		
●後発医薬品	310億円	(+17)	(0)
	モメタゾンAG発売が売上増加に寄与		
◆ヘルスケア事業	64億円	(+6)	(+5)
■営業利益	75億円	(-15)	(+10)
◆営業利益率は6.8%と前期比1.1ポイント低下			
●原価率：前期比1.4ポイント低下 (49.5%⇒48.1%)	・プロダクトミクスの改善 (新薬群の売上拡大)、消費税増税に伴う薬価改定の影響 (3%台)		
●研究開発費率：前期比0.5ポイント上昇 (9.5%⇒10.0%)	・2億円増加 (108億円⇒110億円) 導入品契約一時金の増加		
●販管費率 (除くR&D費)：前期比1.9ポイント上昇 (33.1%⇒35.0%)	・9億円増加 (376億円⇒385億円) 特許等使用料の増加等		
■親会社株主に帰属する 当期純利益	61億円	(-8)	(+7)

2020年3月期 主要製品の売上状況

(単位：億円)		16年3月期	17年3月期	18年3月期	19年3月期	20年3月期		21年3月期 (予想)
						実績	増減率 (%)	
国内 新 医薬品	フルティフォーム (喘息治療配合剤)	72	101	119	131	146	+12.2	150
	デザレックス (アレルギー性疾患治療剤)	—	10	49	37	26	-30.1	88
	ベオーバ(自社販売分) (選択的β3アドレナリン受容体作動性過活動膀胱治療剤)				7	43	+481.0	70
	ラスビック錠 (キノロン系経口抗菌剤)					11	—	41
	ウリトス(自社販売分) (過活動膀胱治療剤)	75	75	72	66	58	-11.7	27
	ペンタサ (潰瘍性大腸炎・クローン病治療剤)	161	155	153	135	133	-1.5	117
	ナゾネックス (定量噴霧式アレルギー性鼻炎治療剤)	—	—	—	128	60	-52.8	26
	キプレス(成人製剤) (気管支喘息・アレルギー性鼻炎治療剤)	286	177	83	62	53	-15.5	42
	キプレス(小児製剤) (気管支喘息治療剤)	154	149	105	76	65	-14.6	53
ムコダイン (気道粘液調整・粘膜正常化剤)	130	99	87	68	58	-14.5	49	
後発 医薬品	モンテルカスト錠「KM」 (気管支喘息・アレルギー性鼻炎治療剤)	—	82	117	119	115	-3.3	107
	モメタゾン点鼻液「杏林」 (定量噴霧式アレルギー性鼻炎治療剤)					28	—	35
一般用 医薬品	ミルトン (哺乳ビン・乳首消毒剤)	21	22	22	22	24	+9.9	22

研究開発費・設備投資・減価償却費の状況

(単位：百万円)

	16年3月期	17年3月期	18年3月期	19年3月期	20年3月期		21年3月期 (予想)
					実績	増減率	
研究開発費	13,019	13,569	14,243	10,790	10,987	+1.8%	9,600
設備投資	7,218	3,051	2,885	2,306	3,590	+55.6%	5,100
減価償却費	3,730	3,619	3,644	2,940	3,221	+9.5%	3,800

設備投資の詳細 (実績／予想)

(単位：億円)

	19年3月期	20年3月期 (実績)	21年3月期 (予想)
工場設備	15	27	38
管理・販売設備	3	4	4
研究用設備	5	5	9

開発品一覧①（2020年5月12日現在）

PhⅢ～承認

※前回（2020年3月期 第3四半期 2月5日発表）からの変更点

開発段階		製品名・ 開発コード	薬効	起源	特徴	備考
国内	海外					
申請 (19年10月)		KRP-AM1977Y (注射剤)	キノロン系合成抗菌剤	自社	下気道感染症治療に特化して開発した新規キノロン注射剤 1. 肺に高濃度分布し、呼吸器感染症の起炎菌に強い抗菌力を示す 2. 好気性菌と嫌気性菌双方に有効、かつ1日1回投与が可能 3. 誤嚥性肺炎、肺化膿症・肺膿瘍に対しても有効性が確認された	
※申請 (20年3月)		KRP-116D	間質性膀胱炎治療剤	—	医療上の必要性の高い未承認薬・適用外薬に該当する「ジメチルスルホキシド」	
申請 (19年7月)		KRP-108P	気管支喘息	英国 ベクトリア社	喘息治療配合剤「フルティフォーム」の小児適応拡大	

・慢性咳嗽治療剤「MK-7264」販売協業に関する覚書締結（19年5月） メルク社 海外PhⅢ

KRP-AM1977X（キノロン系経口抗菌剤「ラスビック錠75mg」）：2020年1月8日に発売

開発品一覧② (2020年5月12日現在)

POCプロジェクト (Ph I ~ Ph II)

開発段階		製品名・ 開発コード	薬効	起源	特徴	備考
国内	海外					
Ph II (18年6月)		Ad-SGE-REIC	悪性胸膜中皮腫	岡山大学	岡山大学で発見された新規がん抑制遺伝子 REICを使用する遺伝子治療薬。がん細胞選択的アポトーシスと抗がん免疫の活性化を誘導することが期待される	産学共同実用化開発事業 [NexTEP]への採択(14年6月) 【米国】桃太郎源(株)が前立腺がんの臨床試験(Ph I / II)実施中 【日本】岡山大学で肝がんの医師主導臨床治験 (Ph I / I b)実施中

KRP-N118につきましては、当初設定していた製品プロファイルの実現が難しいとの判断に至り、開発を中止いたしました

導入品の状況

「ATYR1923 (aTyr社開発コード)」についてライセンス契約締結 (20年1月)

開発コード: KRP-R120

- ・aTyr社が米国にてPh I b/ II a実施中

- ・本剤は融合タンパク製剤であり、Neuropilin-2 受容体に結合することで過剰な免疫細胞の活性化を抑制する作用を有し、ファースト・イン・クラスの治療薬として肺サルコイドーシス等の炎症疾患への効果が期待される

導出品の状況

開発段階 / 海外	製品名・ 開発コード	導出先	薬効	起源	特徴	備考
Ph I	FPR2作動薬 プログラム	米国 ブリistol・マイヤーズスクイブ社	非開示	自社	FPR2作動薬。主に好中球の遊走を抑制し抗炎症作用を示す	ブリistol・マイヤーズスクイブ社とライセンス契約 (15年12月)
Ph I	KRP-203	再導出を検討中	移植片対宿主病 (GvHD)		S1P受容体アゴニスト	ノバルティス社が開発戦略上の視点から開発中止を決定し、開発権を返還。

2020年3月期 セグメント情報

報告セグメントごとの売上高および利益

(単位：億円)

	売上高		セグメント利益	
	金額	対前年	金額	対前年
合計	1,100	-36	75	-15
医療用医薬品事業計	1,036	-43	66	-17
◆新医薬品	726	-59		
○国内	712	-65		
○海外	15	+7		
◆後発医薬品	310	+17		
ヘルスケア事業計	64	+6	7	+5
調整額	-	-	2	-3

2021年3月期 連結業績予想

(単位：百万円)

	20年3月期 (実績)	21年3月期 (予想)	対前年	
			増減額	増減率 (%)
売上高	109,983	115,500	+5,517	+5.0
医療用医薬品事業	103,599	110,500	+6,901	+6.7
◆新医薬品	72,642	75,600	+2,958	+4.1
国内	71,152	74,600	+3,448	+4.8
海外	1,490	1,000	-490	-32.9
◆後発医薬品	30,957	34,900	+3,943	+12.7
ヘルスケア事業	6,383	5,000	-1,383	-21.7
営業利益	7,503	9,700	+2,197	+29.3
経常利益	8,175	10,200	+2,025	+24.8
親会社株主に帰属する 当期純利益	6,149	7,600	+1,451	+23.6

※新型コロナウイルス感染の拡大による業績への影響は、軽微であると見込んでいますが、状況は未だ不透明な部分が多いことから、今後の動向に注視するとともに、業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに開示いたします

損益計算書の概要（連結）－①

(単位：百万円)	19年3月期		20年3月期			
	実績	売上比	実績	売上比	増減率	前年差額
売上高	113,620	100.0%	109,983	100.0%	-3.2%	-3,637
医療用医薬品事業	107,859	94.9%	103,599	94.2%	-3.9%	-4,259
◆新医薬品	78,525	69.1%	72,642	66.0%	-7.5%	-5,882
○国内	77,694	68.4%	71,152	64.7%	-8.4%	-6,542
○海外	830	0.7%	1,490	1.4%	+79.5%	+660
◆後発医薬品	29,334	25.8%	30,957	28.1%	+5.5%	+1,622
ヘルスケア事業	5,761	5.1%	6,383	5.8%	+10.8%	+622

<当期のポイント：対前期>

(対前期)

■売上高	109,983百万円	(-3,637百万円)
●国内新医薬品	71,152百万円	(-6,542百万円)
(億円)	19.3	20.3
・フルティフォーム	131 ⇒	146 (+15)
・デザレックス	37 ⇒	26 (-11)
・ベオーバ	7 ⇒	43 (+36)
・ラスビック	— ⇒	11 (+11)
・ウリトス	66 ⇒	58 (-8)
・ペンタサ	135 ⇒	133 (-2)
・ナゾネックス	128 ⇒	60 (-68)
・キプレス	139 ⇒	118 (-21)
・ムコダイン	68 ⇒	58 (-10)
●海外新医薬品	1,490百万円	(+660百万円)
(億円)		
・ガチフロキサシン	4 ⇒	6 (+2)
●後発医薬品	30,957百万円	(+1,622百万円)
・モメタゾンAGの発売が売上増加に寄与		
●ヘルスケア事業	6,383百万円	(+622百万円)
(億円)		
・ミルトン	22 ⇒	24 (+2)
・ルビスタ	13 ⇒	15 (+2)

<連結子会社及び持分法適用会社について>

連結子会社6社： 杏林製薬(株)
Kyorin Europe GmbH
ActivX Biosciences, Inc.
キョーリン リメディオ(株)
キョーリン メディカルサブライ(株)
キョーリン製薬グループ工場(株)

持分法適用会社1社：日本理化学薬品(株)

損益計算書の概要（連結）－②

(単位：百万円)	19年3月期		20年3月期			
	実績	売上比	実績	売上比	増減率	前年差額
売上高	113,620	100.0%	109,983	100.0%	-3.2%	-3,637
売上原価	56,210	49.5%	52,950	48.1%	-5.8%	-3,259
売上総利益	57,409	50.5%	57,032	51.9%	-0.7%	-377
販売費及び一般管理費 (うち研究費)	48,436 (10,790)	42.6% (9.5%)	49,528 (10,987)	45.0% (10.0%)	+2.3% (+1.8%)	+1,092 (+196)
営業利益	8,972	7.9%	7,503	6.8%	-16.4%	-1,469
営業外収益	798	0.7%	801	0.7%	+0.3%	+2
営業外費用	332	0.3%	128	0.1%	-61.4%	-204
経常利益	9,438	8.3%	8,175	7.4%	-13.4%	-1,262
特別利益	66	0.1%	123	0.1%	+86.2%	+57
特別損失	145	0.1%	43	0.0%	-69.9%	-101
税金等調整前 当期純利益	9,359	8.2%	8,255	7.5%	-11.8%	-1,103
法人税・住民税 及び事業税	2,004	1.8%	2,085	1.9%	+4.0%	+81
法人税等調整額	485	0.4%	20	0.0%	—	-464
親会社株主に帰属す る当期純利益	6,869	6.0%	6,149	5.6%	-10.5%	-719

＜当期のポイント：対前期＞

◆売上原価率：前期比1.4ポイント低下
(49.5%→48.1%)

・プロダクトミックスの改善

◆研究開発費率：前期比0.5ポイント上昇
(9.5%→10.0%)

・108億円→110億円（2億円増加）
導入品契約一時金の増加

◆販管費率（除R&D費）：前期比1.9ポイント上昇
(33.1%→35.0%)

・376億円→385億円（9億円増加）
特許等使用料の増加等

■営業利益 7,503百万円（-1,469百万円）
・営業利益率は6.8%と1.1ポイント低下

■親会社株主に帰属 6,149百万円（-719百万円）
する当期純利益

■配当 75円00銭/株（内、中間配当30円/株）
配当性向70.9%

貸借対照表の概要 (連結)

(単位：百万円)	19年3月期末	
	実績	構成比
流動資産	114,904	66.4%
現金及び預金	32,007	
受取手形及び売掛金	52,635	
有価証券	501	—
棚卸資産	25,420	
その他	4,339	
固定資産	58,130	33.6%
有形固定資産	21,792	
無形固定資産	3,401	—
投資その他	32,936	
資産合計	173,034	100.0%

流動負債	41,480	24.0%
支払手形及び買掛金	11,441	
その他流動負債	30,038	—
固定負債	8,159	4.7%
負債合計	49,639	28.7%
株主資本	116,744	67.5%
その他の包括利益累計額	6,651	3.8%
その他有価証券評価差額金	8,925	
為替換算調整勘定	56	—
退職給付に係る調整累計額	-2,331	
純資産合計	123,395	71.3%
負債及び純資産合計	173,034	100.0%

20年3月期		
実績	構成比	前期末増減
117,058	68.4%	+2,154
31,925		
47,449		
993	—	—
33,283		
3,406		
54,102	31.6%	-4,028
22,721		
3,332	—	—
28,047		
171,160	100.0%	-1,873

31,328	18.3%	-10,151
9,776		
21,551	—	—
17,121	10.0%	+8,962
48,449	28.3%	-1,189
118,534	69.3%	+1,789
4,176	2.4%	-2,474
6,922		
36	—	—
-2,782		
122,710	71.7%	-684
171,160	100.0%	-1,873

<当期のポイント> (対前期末)

■ 流動資産： 2,154百万円増

- ・現金及び預金の減少 (-82百万円)
- ・受取手形及び売掛金の減少 (-5,186百万円)
- ・有価証券の増加 (+491百万円)
- ・棚卸資産の増加 (+7,863百万円)
- ・その他 (-932百万円)

■ 固定資産： 4,028百万円減

- ・有形固定資産の増加 (+929百万円)
- ・無形固定資産の減少 (-68百万円)
- ・投資その他の減少 (-4,888百万円)

■ 流動負債： 10,151百万円減

- ・支払手形及び買掛金の減少 (-1,664百万円)
- ・その他流動負債の減少 (-8,486百万円)

■ 固定負債： 8,962百万円増

主な業績項目の推移（連結）

(単位：百万円)	16年3月期	17年3月期	※18年3月期	19年3月期	20年3月期	21年3月期 (予想)
売上高 (海外売上)	119,483 (5,586)	115,373 (764)	110,640 (3,339)	113,620 (830)	109,983 (1,490)	115,500 (1,000)
売上原価 (売上原価率) %	47,360 (39.6%)	50,847 (44.1%)	49,064 (44.3%)	56,210 (49.5%)	52,950 (48.1%)	—
販売費及び一般管理費 (販管費率) %	52,486 (43.9%)	54,113 (46.9%)	52,753 (47.7%)	48,436 (42.6%)	49,528 (45.0%)	—
うち研究開発費 (研究開発費率) %	13,019 (10.9%)	13,569 (11.8%)	14,243 (12.9%)	10,790 (9.5%)	10,987 (10.0%)	9,600 (8.3%)
営業利益 (営業利益率) %	19,636 (16.4%)	10,413 (9.0%)	8,822 (8.0%)	8,972 (7.9%)	7,503 (6.8%)	9,700 (8.4%)
経常利益 (経常利益率) %	19,995 (16.7%)	10,874 (9.4%)	9,345 (8.4%)	9,438 (8.3%)	8,175 (7.4%)	10,200 (8.8%)
当期純利益 (当期純利益率) %	13,639 (11.4%)	7,305 (6.3%)	6,574 (5.9%)	6,869 (6.0%)	6,149 (5.6%)	7,600 (6.6%)
一株当たり利益 (円)	184.28円	99.45円	89.28円	104.68円	107.35円	132.67円
資本金	700	700	700	700	700	—
総資産	197,825	192,668	196,736	173,034	171,160	—
株主資本	149,808	152,585	155,489	116,744	118,534	—
純資産	157,049	157,837	163,297	123,395	122,710	—
一株当たり純資産 (円)	2,131.67円	2,146.83円	2,214.13円	2,154.05円	2,142.07円	—
自己資本利益率 %	8.9%	4.6%	4.1%	4.8%	5.0%	—
自己資本比率 %	79.4%	81.9%	83.0%	71.3%	71.7%	—
人員 (人)	2,420人	2,382人	2,348人	2,297人	2,271人	—
設備投資	7,218	3,051	2,885	2,306	3,590	5,100
減価償却費	3,730	3,619	3,644	2,940	3,221	3,800

損益計算書の概要：杏林製薬－①

(単位：百万円)	19年3月期		20年3月期			
	実績	売上比	実績	売上比	増減率	前年差額
売上高	99,736	100.0%	96,336	100.0%	-3.4%	-3,399
医療用医薬品事業	94,731	95.0%	90,827	94.3%	-4.1%	-3,903
◆新医薬品	76,172	76.4%	70,377	73.1%	-7.6%	-5,795
○国内	75,558	75.8%	69,116	71.7%	-8.5%	-6,442
○海外	613	0.6%	1,260	1.3%	+105.4%	+647
◆後発医薬品	18,558	18.6%	20,450	21.2%	+10.2%	+1,891
ヘルスケア事業	5,004	5.0%	5,509	5.7%	+10.1%	+504

<当期のポイント：対前期>

	(対前期)	
■売上高	96,336百万円	(-3,399百万円)
●国内新医薬品	69,116百万円	(-6,442百万円)
(億円)	<u>19.3</u>	<u>20.3</u>
・フルティフォーム	131 ⇒	146 (+15)
・デザレックス	37 ⇒	26 (-11)
・ペオーバ	7 ⇒	43 (+36)
・ラスビック	— ⇒	11 (+11)
・ウリトス	66 ⇒	58 (-8)
・ペンタサ	135 ⇒	133 (-2)
・ナゾネックス	128 ⇒	60 (-68)
・キプレス	139 ⇒	118 (-21)
・ムコダイン	68 ⇒	58 (-10)
●海外新医薬品	1,260百万円	(+647百万円)
(億円)		
・ガチフロキサシン	4 ⇒	6 (+2)
●後発医薬品	20,450百万円	(+1,891百万円)
・モメタゾンAGの発売が売上増加に寄与		
●ヘルスケア事業	5,509百万円	(+504百万円)
(億円)		
・ミルトン	22 ⇒	24 (+2)
・ルピスタ	13 ⇒	15 (+2)

損益計算書の概要：杏林製薬－②

<当期のポイント：対前期>

(単位：百万円)	19年3月期		20年3月期			
	実績	売上比	実績	売上比	増減率	前年差額
売上高	99,736	100.0%	96,336	100.0%	-3.4%	-3,399
売上原価	50,443	50.6%	47,339	49.1%	-6.2%	-3,103
売上総利益	49,292	49.4%	48,996	50.9%	-0.6%	-295
販売費及び一般管理費 (うち研究費)	43,905 (9,569)	44.0% (9.6%)	44,675 (10,038)	46.4% (10.4%)	+1.8% (+4.9%)	+769 (+469)
営業利益	5,387	5.4%	4,321	4.5%	-19.8%	-1,065
営業外収益	784	0.8%	1,093	1.1%	+39.4%	+308
営業外費用	50	0.1%	74	0.1%	+48.4%	+24
経常利益	6,121	6.1%	5,340	5.5%	-12.8%	-780
特別利益	60	0.1%	—	—	—	-60
特別損失	120	0.1%	61	0.1%	-48.8%	-59
税引前当期純利益	6,061	6.1%	5,278	5.5%	-12.9%	-782
法人税・住民税 及び事業税	1,193	1.2%	1,273	1.3%	+6.7%	+80
法人税等調整額	478	0.5%	7	0.0%	—	-470
当期純利益	4,389	4.4%	3,996	4.1%	-8.9%	-392

◆ **売上原価率：前期比 1.5ポイント低下**
(50.6%→49.1%)

・プロダクトミックスの改善

◆ **研究開発費率：前期比 0.8ポイント上昇**
(9.6%→10.4%)

・96億円→100億円 (4億円増加)
導入品契約一時金の増加

◆ **販管費率(除くR&D費)：前期比1.6ポイント上昇**
(34.4%→36.0%)

・343億円→346億円 (3億円増加)
特許等使用料の増加等

■ **営業利益 4,321百万円 (-1,065百万円)**

■ **当期純利益 3,996百万円 (-392百万円)**

貸借対照表の概要：杏林製薬

<当期のポイント> (対前期末)

■流動資産：3,205百万円増

- ・現金及び預金の増加 (+10,742百万円)
- ・売掛金の減少 (-4,983百万円)
- ・有価証券の増加 (+491百万円)
- ・棚卸資産の増加 (+7,690百万円)
- ・その他 (-10,735百万円)

■固定資産：4,621百万円減

- ・有形固定資産の減少 (-357百万円)
- ・無形固定資産の減少 (-345百万円)
- ・投資その他の減少 (-3,918百万円)

■流動負債：8,831百万円減

- ・買掛金の減少 (-5百万円)
- ・その他 (-8,826百万円)

■固定負債：9,330百万円増

(単位：百万円)	19年3月期末	
	実績	構成比
流動資産	118,028	72.9%
現金及び預金	7,581	
売掛金	47,814	
有価証券	501	—
棚卸資産	19,237	
その他	42,893	
固定資産	43,957	27.1%
有形固定資産	7,685	
無形固定資産	3,087	—
投資その他	33,184	
資産合計	161,986	100.0%

20年3月期		
実績	構成比	前期末増減
121,234	75.5%	+3,205
18,323		
42,831		
993	—	—
26,927		
32,157		
39,336	24.5%	-4,621
7,328		
2,741	—	—
29,265		
160,570	100.0%	-1,415

流動負債	36,562	22.6%
買掛金	10,299	
その他流動負債	26,262	—
固定負債	4,103	2.5%
負債合計	40,665	25.1%
株主資本	112,464	69.4%
評価・換算差額等	8,856	5.5%
純資産合計	121,320	74.9%
負債及び純資産合計	161,986	100.0%

27,730	17.3%	-8,831
10,294		
17,436	—	—
13,433	8.4%	+9,330
41,164	25.6%	+499
112,525	70.1%	+60
6,880	4.3%	-1,975
119,405	74.4%	-1,914
160,570	100.0%	-1,415

主な業績項目の推移：杏林製薬

(単位：百万円)	16年3期	17年3期	※18年3期	19年3期	20年3月期	21年3月期 (予想)
売上高 (海外売上)	106,390 (5,343)	100,022 (528)	97,459 (3,115)	99,736 (613)	96,336 (1,260)	100,700 (700)
売上原価 (売上原価率) %	40,798 (38.3%)	43,503 (43.5%)	42,885 (44.0%)	50,443 (50.6%)	47,339 (49.1%)	—
販売費及び一般管理費 (販管費率) %	48,129 (45.2%)	49,714 (49.7%)	48,645 (49.9%)	43,905 (44.0%)	44,675 (46.4%)	—
うち研究開発費 (研究開発費率) %	12,421 (11.7%)	12,785 (12.8%)	13,158 (13.5%)	9,569 (9.6%)	10,038 (10.4%)	8,400 (8.3%)
営業利益 (営業利益率) %	17,461 (16.4%)	6,803 (6.8%)	5,928 (6.1%)	5,387 (5.4%)	4,321 (4.5%)	7,300 (7.2%)
経常利益 (経常利益率) %	17,985 (16.9%)	7,396 (7.4%)	6,608 (6.8%)	6,121 (6.1%)	5,340 (5.5%)	8,200 (8.1%)
当期純利益 (当期純利益率) %	12,113 (11.4%)	4,454 (4.5%)	4,637 (4.8%)	4,389 (4.4%)	3,996 (4.1%)	6,200 (6.2%)
一株当たり利益(円)	163.11円	59.98円	62.45円	59.10円	53.82円	—
資本金	4,317	4,317	4,317	4,317	4,317	—
総資産	155,637	149,382	151,622	161,986	160,570	—
株主資本	117,300	117,744	118,595	112,464	112,525	—
純資産	127,610	125,310	128,614	121,320	119,405	—
一株当たり純資産 (円)	1,718.23円	1,687.28円	1,731.76円	1,633.55円	1,607.77円	—
自己資本利益率 %	9.9%	3.5%	3.7%	3.5%	3.3%	—
自己資本比率 %	82.0%	83.9%	84.8%	74.9%	74.4%	—
人員 (人)	1,731人	1,687人	1,673人	1,567人	1,502人	—
設備投資	5,059	905	815	599	441	700
減価償却費	2,241	2,143	1,942	1,183	1,337	1,500

■ 将来見通しに関する注意事項

本資料に記載されている業績予想等は、現時点で入手可能な情報により判断した予想であり、将来の業績に影響を与える不確実な要因やリスクが含まれています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。